



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要

建物名称	日本ホイス株式会社 おどろきの工場 増築工事	BEE	1.1	BEEランク	B+	★★★
------	------------------------	-----	-----	--------	----	-----

2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点 [※] /満点	取組み度	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.2 /5		ふつう
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.6 /5		がんばろう
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.5 /5		ふつう
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.6 /5		がんばろう

※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)

評価 凡例	よい 4 点以上	ふつう 3 点以上	がんばろう 3 点未満
-------	----------------	-----------------	-------------------

3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。	内訳対応項目	
	得点	3.2
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)		
<ul style="list-style-type: none"> ■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ④給水、排水管は40年以上、通気管は60年以上耐用出来る管材を使用した。 	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④	① 外皮性能 ② 昼光利用設備 ③ 昼光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ④ 主要設備機器の更新必要間隔
<ul style="list-style-type: none"> ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑤外構緑化指数28%になるよう、敷地境界側に緑地・植栽を設けた。 	Q-3 1 3 3.2	⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ 敷地内温熱環境の向上
<ul style="list-style-type: none"> ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) 	LR-1 1 2 3 4 4.1 4.2	⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑩ 運用管理体制
<ul style="list-style-type: none"> ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪節水コマに加えて、節水型便器を使用した。 ⑫鉄骨造の為、建物解体時に分別が容易であり、リサイクルへの向上を図る。 ⑬断熱材にはODP=0、GWP=1の発泡剤を用いた断熱材を使用し、オゾン層破壊の心配がない建築物とした。 	LR-2 1 1.1 1.2 1.2.1 1.2.2 ⑪ 2 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 3 3.1 3.2 3.2.1 3.2.2 3.2.3 ⑬	⑪ 節水 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑫ 材料使用量の削減 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 ⑬ 消火剤 ⑬ 断熱材 ⑬ 冷媒
<ul style="list-style-type: none"> ■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑮夏季の卓越風向に面する建築物の見付面積比を24.65%に抑えた上、風が回復しやすいよう隣棟間隔指数を11.45となるように形成し、風通し等に配慮した。 	LR-3 1 2 2.2	⑭ 地球温暖化への配慮 ⑮ 温熱環境悪化の改善
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	得点	2.6
<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) 	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 2.1.2 ⑯ 2.4 2.4.1 ⑰ 2.4.2 ⑰ 2.4.3 ⑰ 2.4.4 ⑰ 2.4.5 ⑰	⑯ 耐震性 ⑯ 免震・制振性能 ⑰ 空調・換気設備 ⑰ 給排水・衛生設備 ⑰ 電気設備 ⑰ 機械・配管支持方法 ⑰ 通信・情報設備
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	得点	3.5
<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑳工場の階高10.3m、壁長さ比率0.0443とし、空間、階高のゆとりや形状の自由度を確保している。 	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱⑲ 3 3.1 3.1.1 ⑲ 3.1.2 ⑲	⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画 ⑲ 階高のゆとり ⑲ 空間の形状・自由度
<ul style="list-style-type: none"> ■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) ㉑庇を設けることで建築的な工夫を取り入れ、都市空間上のアメニティ向上に貢献している。 	Q-3 3 3.1	㉑ 地域性への配慮、快適性の向上
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	得点	2.6
<ul style="list-style-type: none"> ■室外環境(敷地内)対策 (②生物環境の保全と創出/③まちなみ・景観への配慮/④敷地内温熱環境の向上) ⑤外構緑化指数28%になるよう、敷地境界側に緑地・植栽を設けた。 	Q-3 1 2 3 3.2	② 生物環境の保全と創出 ③ まちなみ景観への配慮 ④ 敷地内温熱環境の向上
<ul style="list-style-type: none"> ■敷地外環境対策 (⑥持続可能な森林から産出された木材/⑦温熱環境悪化の改善) ⑦夏季の卓越風向に面する建築物の見付面積比を24.65%に抑えた上、風が回復しやすいよう隣棟間隔指数を11.45となるように形成し、風通し等に配慮した。 	LR-2 2 2.5 LR-3 2 2.2	⑥ 持続可能な森林から産出された木材 ⑦ 温熱環境悪化の改善